

# 防災教育の取組状況について

令和2年7月20日  
湯沢河川国道事務所

# 防災教育に関する取り組み状況（スケジュール）

- 平成29年3月に改訂された学習指導要領の周知・移行を平成31年度までに行い、令和2年度以降は全面的に実施。
- 全面実施に向け、指導計画・教師用解説・板書計画・デジタルコンテンツ等の防災教育資料の作成を支援。
- 令和元年度までに防災教育資料の流域全校への配布完了し、今後は全面実施を行っていく予定。
- 令和2年度は、新型コロナ対応による授業進捗遅延を考慮し、主に各校からの支援要望に基づいた各種活動を行う予定

現在

項目	実施内容	平成28年度	平成29年度												平成30年度				令和元年度	令和2年度					
		4月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10～3月	4月～3月	4月～3月		
減災対策協議会の取組	協議会の開催	5/31 第1回協議会 8/9 第2回協議会 (取組方針策定)		5/10 第3回協議会 (取組方針第1回改定)		7月・8月 洪水							1/19 第4回協議会 (取組方針第2回改定)			5月 洪水	5/30 第5回協議会【臨時】 (H30.5.18-19出水概要等)	7/3 第6回協議会 (避難アンケート結果等)				4月22日 第7回協議会 2月7日 第8回協議会		7月20日 第9回協議会	
	タイムライン検証 アンケート調査					タイムライン検証							アンケート調査												
	ロールプレイング型 洪水対応演習										11/2 演習										11/1 演習			11/20 演習	11月中予定
	教育機関と連携した 防災教育										10/24 大曲高等学校 10/31 大曲中学校							7～10月 中・高校3校 保育園1校					5～10月 中学2校、高校4校		← 出前講座等 随時
防災教育資料の試行・ 活用・見直し	防災教育資料(案)作成					8/14打合せ (秋田大学教育文化学部)							1/10打合せ (秋田大学教育文化学部)												
	小学校の選定(各市町村 へ依頼)												1/23依頼メール (各市町村へ)												
	小学校での試行(1市町村 あたり1校:合計8校)																							2/21協和小学校	
	資料の見直し																								
	協議会に係る市町村 の全ての小学校へ資料を 配布・調整																								流域内全校 配布完了
	協議会に係る市町村 の全ての小学校で活用																								
学習指導要領の改訂等			3/31 学習指導要領改訂																						改訂された学習指導 要領の全面実施

## 防災教育資料（指導計画等）の試行授業について

- ・ 防災教育に関する支援校として8校を選定し、そのうち、7校で試行授業を実施済み。
- ・ 試行授業による意見聴取を踏まえ、防災教育資料の見直しを実施。

自治体	支援校名	対象学年	実施月日
湯沢市	三関小学校	5年生	平成30年11月2日(金) ・6日(火)・8日(木)
秋田市	大住小学校	5年生	平成30年11月6日(火)・8日(木) ・13日(火)・15日(木)・16日(金)
横手市	陸合小学校	5年生	平成30年11月20日(水)・21日(水)
羽後町	西馬音内小学校	5年生	平成30年11月29日(木)・30日(金) ・12月3日(月)
美郷町	仙南小学校	5年生	平成30年12月12日(水)・13日(木)
仙北市	西明寺小学校	5年生	平成30年12月19日(水)
大仙市	協和小学校	5年生	令和元年2月21日(金)
取組実施校 7校			

# 試行授業の事例【羽後町立 西馬音内小学校】

## ■実施月日：

平成30年11月29日（木）・30日（金）  
・12月3日（月）

## ■実施対象：

羽後町立 西馬音内小学校 5年生

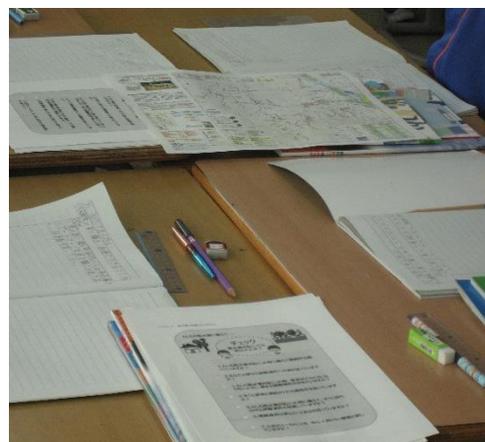
### <授業の概要>

- ・日本は自然災害が起こりやすいことを知り、雄物川での水害がもたらす影響を考え、日頃から防災意識を高めることの大切さを学んだ。
- ・秋田県での自然災害の特徴などに関してグループで意見を出し合い、各自で発表した。
- ・水害への備えについて検討を重ね、意見交換を行った。

### 授業風景



### 防災教育資料を活用し、試行授業を実施



防災教育資料を活用し  
グループ討論を実施



グループ討論のようす

# 試行授業等における主な意見

## 支援校からの意見等

### 時間設定に関する意見

- 全てを授業中に提示しようとする、時間が足りなかった。
- 専門的で効果的なものが多数あり、子どもたちの理解を深めるために役立っている反面、情報量が多いため、児童がより理解しやすいように抜粋する必要があると感じた。

### 授業の進め方に関する意見

- グループで話し合いを行う際に、「課題」があれば子どもたちの目的意識が共有できると思った。

### 資料の内容に関する意見等

- デジタルコンテンツについて、画面で見せるものと紙で配布するものが分かっていると良かった。
- 水害への備えに関するチェックシートは子どもたちも興味を持って取り組んでいた。
- 地域に根ざした資料であり、子どもたちの興味関心が高まった。

#### <秋田大学教育文化学部 学生による模擬授業での意見>

- 「めあて」が提示されなかったので見通しを持ちづらい。ゴールがわからないまま授業が進む。
- 「まとめ」が教師の口頭説明だけで板書がない。視覚情報がないと理解しにくい。
- 秋田駒ヶ岳(写真)について、噴火時と平静時を比較できたらなお良い。
- 児童のハザードマップの読み取り能力(読図・空間概念)を踏まえた教材化、指導法の検討が必要。

#### <試行授業を踏まえた事務局の意見>

- 資料内容の割に、授業時間が足りていないことが明らかとなった。
- デジタルコンテンツについて、文字やグラフが小さくて見えにくいものや児童には難解なものがあるため、改善が必要。
- ハザードマップについて、用語や見方などを学ぶための資料が必要と感じた。
- 水害の恐ろしさを理解するには動画が最も効果的であると感じた。

# 防災教育に関する今後の支援、問い合わせ等について

- 試行授業における意見等を踏まえて見直し改善を行った防災教育資料は、令和元年度に雄物川流域全ての小学校に配付完了し、今後は各校での授業活用を支援していく予定。
- 防災教育の実施にあたり、初めて防災教育資料を使用する学校では、「どのように授業を行えばよいか」、「専門用語が理解出来ない」等の問合せが想定されることから、各学校のニーズに応じて事務局で支援。防災教育資料に関する問合せ等については、関係市町村窓口を通じて事務局へ連絡をいただく体制で協力。
- 防災教育資料以外の支援活動として、講師派遣や現場見学などの支援要請があった場合は、協議会構成機関が連携し、積極的な受け入れを推進していく。

## 防災教育連絡体制

